

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日
東

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所
 コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6262-5160
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	1,314	27.1	192	44.5	189	△30.7	123	△32.9
2020年12月期第2四半期	1,033	19.7	133	△26.6	272	△3.7	184	△4.0

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 145百万円(—%) 2020年12月期第2四半期 △11百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年12月期第2四半期	円 銭 18.75	円 銭 18.39
2020年12月期第2四半期	28.10	27.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	2,400	1,733	72.2
2020年12月期	2,175	1,583	72.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 1,733百万円 2020年12月期 1,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないグローバルなIoT事業の大きな成長とそのための事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 2 Q	6,751,000株	2020年12月期	6,751,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	135,650株	2020年12月期	156,625株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 2 Q	6,599,029株	2020年12月期 2 Q	6,558,708株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、IoT、ビッグデータ、AIといったデジタル技術の活用により、これまでデジタル化が進まなかった領域にもデジタル化の波が押し寄せ、サイバー空間とリアル空間が完全同期し、あらゆるレベルにおいて変革や新たな価値の創造が生まれる社会へと向かっています（出典：総務省「令和2年版 情報通信白書」）。

このような環境のなかで当社グループは、保有する基盤コア技術を応用したビジネスデザイン、すなわち、IoT、IIoT分野に加え「生物・細胞」がインターネットとつながるIoE（Everything）、そして人間の能力を拡張させるIoA（Abilities）分野におけるビジネスデザインを、国内だけではなくグローバルにおいても着実に進めております。

当社のクラウド・IoT分野を包括するデータコントロール事業の売上は、安定した完全ストック型ビジネス（サブスクリプションモデル及びリカーリングモデル）の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されております。当第2四半期連結累計期間においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けることなく、引き続き月額課金案件の受注獲得を推し進めており、前年同期と比較して月額課金売上は266,390千円純増し、上場以来26四半期連続で過去最高の月額課金売上のプラス成長となり極めて堅調に推移しております。なお、新たなコントロールセンター開設による国内外トリプル拠点の体制強化など、現在も先行投資を継続して実施していますが、当第2四半期連結累計期間における営業利益の前年同期増減率は+44.5%と大幅増加になりました。

また、IoT分野では、IoTエンジン「NEQTO」をベースに、あらゆる事業者のエンタープライズレベルのIoTソリューションに大きく寄与するスピーディーかつシンプルなソフトウェアサービスを展開しており、多くの業界にまたがる幅広いIoTのユースケースにおいて適用力と拡張性を評価されており、全世界における双方向データ制御のIoTサービス実現に向かっております。さらに、大型コントロールセンター（SCC N44）の開設やマルチクラウドインテグレーションへの本格参入（JIG-SAWプライム）など、今後飛躍的に増加・多様化していくIoTデータコントロール・クラウドマネージドサービスへの要望に応えるべく既存サービスの充実も進めています。また、引き続き今後の高い事業成長を実現すべく、将来に向けた投資である研究開発費・販売促進費・人件費・グローバル展開のための先行投資を前年同期と比較し約175,000千円大幅に増加させております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,314,503千円（前年同期比27.1%増）、営業利益192,832千円（前年同期比44.5%増）、経常利益189,202千円（前年同期比30.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益123,729千円（前年同期比32.9%減）となりました。

なお、当社グループはデータコントロール事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、1,537,022千円（前連結会計年度末比119,102千円増）となりました。これは主に、その他に含まれる前払費用が増加（前連結会計年度末比88,512千円増）、売掛金が増加（前連結会計年度末比38,638千円増）したことによるものであります。

また、固定資産は、863,190千円（前連結会計年度末比105,179千円増）となりました。これは主に、有形固定資産が増加（前連結会計年度末比60,961千円増）、繰延税金資産が増加（前連結会計年度末比30,509千円増）したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,400,212千円となり、前連結会計年度末に比べ224,281千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、521,517千円（前連結会計年度末比103,535千円増）となりました。これは主に、その他に含まれる前受収益が増加（前連結会計年度末比84,150千円増）したことによるものであります。

また、固定負債は、145,391千円（前連結会計年度末比29,482千円減）となりました。これは主に、長期借入金が増少（前連結会計年度末比30,000千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における負債は、666,908千円となり、前連結会計年度末に比べ74,053千

円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、1,733,303千円(前連結会計年度末比150,228千円増)となりました。これは主に、利益剰余金が増加(前連結会計年度末比35,593千円増)、自己株式が減少(前連結会計年度末比93,005千円減)したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、882,109千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は、140,369千円(前年同期は133,080千円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益189,202千円の計上により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により支出した資金は、101,621千円(前年同期は4,641千円の獲得)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出84,906千円、投資有価証券の取得による支出10,120千円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により支出した資金は、34,841千円(前年同期は30,747千円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出38,018千円により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないグローバルなIoT事業の大きな成長とそのための事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	890,290	886,566
売掛金	425,967	464,605
その他	101,704	185,897
貸倒引当金	△41	△47
流動資産合計	1,417,920	1,537,022
固定資産		
有形固定資産	258,439	319,401
無形固定資産	41,081	44,051
投資その他の資産		
投資有価証券	96,663	113,464
敷金及び保証金	235,790	233,636
繰延税金資産	83,653	114,163
その他	42,921	39,801
貸倒引当金	△540	△1,328
投資その他の資産合計	458,489	499,737
固定資産合計	758,010	863,190
資産合計	2,175,930	2,400,212
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,985	138,405
1年内返済予定の長期借入金	68,018	60,000
未払法人税等	39,437	108,776
その他	179,540	214,335
流動負債合計	417,981	521,517
固定負債		
長期借入金	165,000	135,000
その他	9,874	10,391
固定負債合計	174,874	145,391
負債合計	592,855	666,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,107	351,107
資本剰余金	310,580	310,580
利益剰余金	1,630,995	1,666,589
自己株式	△696,232	△603,226
株主資本合計	1,596,451	1,725,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,311	1,290
為替換算調整勘定	△10,067	6,959
その他の包括利益累計額合計	△13,379	8,250
新株予約権	2	2
純資産合計	1,583,075	1,733,303
負債純資産合計	2,175,930	2,400,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	1,033,834	1,314,503
売上原価	291,665	412,554
売上総利益	742,168	901,949
販売費及び一般管理費	608,763	709,116
営業利益	133,405	192,832
営業外収益		
受取利息	20	9
為替差益	887	—
投資有価証券売却益	134,238	—
助成金収入	4,569	3,176
その他	356	90
営業外収益合計	140,072	3,276
営業外費用		
支払利息	256	185
為替差損	—	5,928
その他	233	791
営業外費用合計	490	6,905
経常利益	272,987	189,202
特別損失		
解約手数料	11,464	—
特別損失合計	11,464	—
税金等調整前四半期純利益	261,522	189,202
法人税、住民税及び事業税	71,584	96,756
法人税等調整額	5,628	△31,282
法人税等合計	77,212	65,473
四半期純利益	184,310	123,729
親会社株主に帰属する四半期純利益	184,310	123,729

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	184,310	123,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△188,450	4,602
為替換算調整勘定	△6,933	17,027
その他の包括利益合計	△195,383	21,629
四半期包括利益	△11,073	145,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,073	145,359
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	261,522	189,202
減価償却費	21,948	30,193
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	794
受取利息及び受取配当金	△360	△87
支払利息	256	185
投資有価証券売却損益(△は益)	△134,238	—
売上債権の増減額(△は増加)	△75,510	△38,638
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,508	7,419
その他	△61,157	△16,816
小計	9,959	172,252
利息及び配当金の受取額	72	21
助成金の受取額	4,569	3,176
利息の支払額	△256	△185
法人税等の支払額	△147,425	△34,895
営業活動によるキャッシュ・フロー	△133,080	140,369
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△120,957	△84,906
投資有価証券の売却による収入	129,074	—
投資有価証券の取得による支出	—	△10,120
その他	△3,475	△6,594
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,641	△101,621
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△37,998	△38,018
自己株式の処分による収入	—	5,250
その他	7,250	△2,073
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,747	△34,841
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,398	△12,088
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△154,787	△8,181
現金及び現金同等物の期首残高	1,105,226	890,290
現金及び現金同等物の四半期末残高	950,439	882,109

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

ストック・オプションの行使による自己株式の処分により、利益剰余金が88,135千円及び自己株式が93,385千円減少しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が1,666,589千円、自己株式が603,226千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。